

# サハリン交流

管内では稚内市と猿払村が、サハリン州の3市1村と姉妹友好提携を締結しており、民間団体を含め、文化やスポーツ、観光などの様々な分野での交流が行われてきました。

現在、ウクライナ情勢を踏まえ、ロシアとの交流事業等は休止しているため、これまで実施してきた取組を掲載しています。

## ■これまでの取組

### ○交流事業

令和元年度（2019年度）から令和3年度（2021年度）には、振興局独自事業として稚内北星学園大学等の学生とサハリン国立総合大学の学生との交流事業を実施しました。

※稚内とサハリン州コルサコフ間は、平成30年度（2018年度）まで旅客船の運航を行っていましたが、令和元年度（2019年度）からは運航を休止しています。

## 姉妹友好都市提携状況

### ロシア連邦サハリン州との提携

市町村名	提携先(提携年月日)
稚内市	ネベリスク市 (1972.9.8)
	コルサコフ市 (1991.7.2)
	ユジノサハリンスク市 (2001.9.9)
猿払村	オジョールスキ村 (1990.12.25)



## 学生交流事業



## ■普及啓発

平成30年度（2018年度）には、若い世代を含めた宗谷管内の方々にサハリンについて関心・理解を深めてもらうため、漫画小冊子『となりのサハリン』を作成し、管内の小中高校等に配付しました。

また、ロシア人向けホームページ及びガイドブックにより、道北3振興局（宗谷・上川・留萌）の観光情報の発信を行っています。

## 漫画小冊子



## ■ロシア連邦サハリン州

古くからアイヌの人たちや松前藩を中心に交易が行われ日本とゆかりの深いサハリン州は、宗谷岬からわずか43kmに位置するサハリン島（南北距離950km）を中心とする州です。面積は北海道とほぼ同じ8.7万km<sup>2</sup>、人口では50万人弱と北海道の約1/10です。

州都のユジノサハリンスク市は、20.7万人が住むサハリン州最大の都市で、碁盤の目の道筋で整然とした街並みは、まるで「小札幌」を思わせます。気候は旭川市とほぼ同じで、7月中旬～8月中旬頃までの最高気温は25℃まで上がります。



郷土博物館



ロシア正教会